

新潟県議会議員
議員活動報告

小島義徳

県政だより

二月定例会を終えて

この度、本年度補正予算と新年度新潟県一般会計当初予算審議を中心とする二月定例会が閉会致しました。いよいよ新年度を迎えようとしております。日頃より地域の皆様から貴重なご意見ご要望を都度寄せて頂き、心より感謝申し上げます。

今日も地域の皆様の声を聴き、現場をすべて自分の目で見て課題解決につなげて参りました。また、社会資本整備や産業振興、地域医療、福祉や教育の充実、歴史と文化の振興に心を注いで参りました。

私たちの住む地域の特性や個性をより一層発揮するために、地域自らの取組に加え、県や国の支援、そして皆様のアイデアを活かしたれが、安心して暮らせるまちづくりを精力的に目指して参ります。

今後も、地域の発展と誇れる郷土づくりのため揺るぎない決意をもって取り組んで参りたいと思っております。引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



平成31年3月24日発行 第017号

東南環状線工事すすむ

昭和四十年に都市計画決定された東南環状線は、平成二七年に事業認可され、南本町三丁目交差点から寺沢を抜け赤海一丁目に至る未整備区間一、四六九mが県が行う事業。現在南本町より寺沢方面にかけて建設がすすむ。



東南環状線工事現場写真 南本町

白川大橋(仮称)工事現場

主要地方道新発田津川線から阿賀野川を渡り国道49号線に直結するための白川大橋(仮称)橋長二五三mの建設がすすむ。



白川大橋(仮称) 工事現場写真

荻曾根川改修工事現場

平成十九年度に事業採択を受けた荻曾根川改修工事も着実にすすむ。



荻曾根川改修工事現場写真

能代川災害関連工事現場

能代川上戸倉地区における災害関連事業による河川整備工事。



能代川改修工事現場写真

十全地区圃場整備すすむ

十全地区ですすむ経営体育成基盤整備事業である圃場整備工事はじまり、農地の集約と多面的機能をめざす。



経営体育成基盤整備事業 十全地区工事現場写真

五泉中央病院完成めざす

医療法人社団真仁会が県や市などの支援を受け、南部郷総合病院と北日本脳神経外科病院を統合し、地域医療を守る五泉中央病院の開院に向け建設中。開院予定は本年十二月予定。



五泉中央病院建設工事現場写真

平成三十一年度 当初予算案のポイント

◆「住んでよし、訪れてよしの新潟県づくり」の第一歩を踏み出す予算

○県民の安全・安心の最優先での確保や、活力や賑わいの創出など、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現に向けた取組

○厳しい財政状況を踏まえ、地方財政措置を活用し後年度負担を抑制する財政運営に対応

- 一 一段加速した防災・減災対策の推進
 - ・ 確実な避難行動につなげる住民目線のソフト対策の強化
 - ・ 災害から県民の命と暮らしを守るハード対策の強化など
- 二 安全で安心なまちづくり
 - ・ 女性や子どもなどの安全の確保と犯罪のない安全で安心な社会の実現など
- 三 原子力防災対策の推進
 - ・ 三つの検証の着実な実施と実効性のある避難計画の策定など
- 四 「健康立県」の実現
 - ・ 県民の健康づくりの推進
 - ・ 地域で安心して医療が受けられる体制の整備
 - ・ 介護予防等高齢者福祉の推進
 - ・ 「健康寿命延伸」と「最善のケア・サポート」の新世代情報基盤の構築など
- 五 多様な地域資源を活かした交流人口の拡大
 - ・ 外国人観光客の誘致の推進
 - ・ 国内外に通用する魅力ある観光地づくりと発信の強化
 - ・ スポーツと文化を活かした交流拡大など
- 六 更なる拠点性向上に向けた交通ネットワークの整備
 - ・ 新潟空港の利便性向上と路線ネットワークの充実
 - ・ 鉄道網の利便性向上に向けた取組の推進
 - ・ 県内港の活性化による物流・人流の拡大

- 七 起業・創業の推進
 - ・ 高速交通ネットワークの充実など
 - ・ 起業・創業の推進
 - ・ 農林水産業を担う人材の確保・育成など
 - ・ 意欲ある企業等への支援による県内産業の活性化
- 八 販路拡大・海外展開の支援
 - ・ 再生可能・次世代エネルギーの活用促進
 - ・ 成長産業の創出・育成など
- 九 付加価値の高い持続可能な農林水産業の実現
 - ・ 担い手が将来展望を持つて経営できる農業の展開
 - ・ 林業の振興
 - ・ 水産業の振興など
- 十 住み続けることができる中山間地づくり
 - ・ 住み続けることができる活力ある地域づくり
 - ・ 買い物や通院など日常生活の移動手段の確保など
- 十一 将来の夢や希望を育みかなえる教育の推進
 - ・ 一人一人を伸ばす教育の推進
 - ・ いじめ防止対策の強化
 - ・ 学校環境の改善・充実など

新潟県議会 東アジア等訪問団報告

このたび、議員十名からなる「新潟県議会東アジア等訪問団」の団員として、平成三十年九月十日から九月十四日までの日程で、香港及びタイを視察してまいりました。

今回の視察の目的は、海外における県産品の販路拡大や県内への観光客誘致の可能性について調査することでした。

今後の県政を考える上で、県議会としても重要な取組です。香港は、農林水産物の我が国最大の輸出先であり、かつ、本県農林水産物の最大の輸出先でもあります。また、タイにおいては、今年度から「新潟県観光コーデイナー」を配置し、本県インバウンド促進の重点地域としています。こうした状況の中、視察を通じて、関係者の方々と忌憚なく意見交換する機会を持つたことは大変有意義でした。

新潟米の輸出拡大

視察先 久保田米業（香港新界沙田）
説明者 久保田米業（香港）
有限会社 代表 久保力 氏

内容 香港市場における新潟米の販売状況と今後の展望

久保田米業で年間に供給できる白米の量は三、〇〇〇トンの能力。今年は約二、〇〇〇トンを香港の市場に供給の予定。内九〇％は新潟米。拡販に向けた課題は、米の調達コスト。



香港の久保田米業での新潟米 精米工場視察

香港人の訪日外国人 観光客の現状と可能性

視察先 在香港日本国総領事館（香港中環）
説明者 在香港日本国総領事館
大使兼総領事 松田 邦紀 氏

内容 訪日外国人リピーター率第一位の香港人観光客の現状と今後の可能性

七四〇万人のうち香港の旅客を持つている人が、昨年は二二三万人。そのうち九〇％は個人客として日本に来ている。香港に、中国をはじめ世界中から一年間に約六、〇〇〇万人の人が来ており受け入れる体制が整っている。香港へ新潟の定期航空の就航に向けて取組中。

バンコク エンドウタイ視察



アイアンヘッドを生産するエンドウタイ

今年は己亥年 我捨他尽必報

視察先 エンドウタイ（バンコク ラートクラバン区）
説明者 ENDO THAI Co., Ltd（エンドウタイ）
マネージングディレクター 古田 健司 氏
ENDO THAI Co., Ltd（エンドウタイ）
工場長 落合 孝志 氏

内容 燕市の遠藤製作所のタイバンコク工場の視察

ENDO THAI（エンドウタイ）。本工場は、創業三十年、工場はタイ福田組が建設。ゴルフクラブのアイアンヘッドを生産。世界シェアの七〇％を誇るといふ。

（タイ福田組マネージングディレクター藤田裕介氏は五泉市南本町出身で私の同級生）



平成31年己亥 小島義徳書

小島義徳事務所

〒959-1803 五泉市下条84-1 ホームページ: <http://kojima-yoshinori.jp>
TEL: 0250-47-4875 FAX: 0250-47-4876 E-mail: kojima@prcoc.co.jp

小島義徳

検索



所属委員会 建設公安委員会

人口減少問題対策特別委員会